

エコアクション21

# 環境レポート

平成30年度

(平成30年3月1日~平成31年2月28日)

平成31年4月15日発行



株式会社 三友金属

〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 45-2

TEL.092-937-7700 FAX.092-937-7701

# 目次

1.取組の対象組織・活動	1
2.環境方針	2
3.EA21 実施体制	3
4.環境目標	4
5.環境活動計画	5
6.実施した取組内容、取組結果及びその評価	6～12
7.環境目標の実績	13
8.その他の環境活動 (8.1 太陽光発電)	
(8.2 緊急避難訓練)	14～16
9.環境関連法規等の遵守結果	17
10.代表者による全体評価と見直しの結果	17

# 1. 取組の対象組織・活動

## 1.組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 三友金属 代表者 遠山 貴広

(2) 所在地

本社・工場 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 45-2

緑栄（造園事業部） 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町 41-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部 古賀 裕子 TEL.092-937-7700 FAX.092-937-7701

担当者 総務部 岩下 政盛 Mail:metal@sanyukinzoku.co.jp

(4) 事業内容

- ・建築資材用スチール、ステンレス、アルミ製品の設計、製作及び販売
- ・建築工事・屋根工事・鋼構造物工事・板金工事・内装仕上工事・建具工事
- ・サイン工事（看板サイン設計・施工）・電気工事・造園工事

(5) 事業の規模

売上額 平成 30 年度 7.5 億

区分	本社	工場	緑栄（造園事業部）	合計
従業員	21 名	10 名	0 名	31 名
延べ床面積	77 m <sup>2</sup>	865 m <sup>2</sup>	66 m <sup>2</sup>	1008 m <sup>2</sup>

(6) 事業年度 3 月～翌年 2 月

(7) 法人設立年月日 平成 15 年 4 月

(8) 資本金 1 千万円

## 2. 対象範囲（認証・登録範囲）

(1) 対象事組織 株式会社 三友金属

本社・工場 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 45-2

緑栄（造園事業部） 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 41-1

(2) 対象外組織 なし

（全組織、全活動を対象とする）

## 2. 環 境 方 針

### 基本理念

株式会社 三友金属は、すべての事業活動、製品から生じる環境への影響を的確に捉え、地球環境との調和・共生を目指します。

また、地球温暖化問題は、次世代にも及ぶ長期的で人類共通の問題であることを十分に認識し、社員一同で未来につながる地球環境づくりに取り組みます。

### 行動指針

当社では環境経営システムを構築し、特に以下の事項について重点的に取り組み、継続的改善に努めます。

1. 省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 廃棄物排出量の削減とリサイクルに努めます。
3. 節水に努め、水資源の保全に努めます。
4. グリーン購入に努めます。
5. 化学物質を適正に使用・管理します。
6. 環境に配慮した製造、施工に努めます。
7. 当社に適用される環境に関する法規制等を遵守します。
8. 環境への取り組みは、毎年環境活動レポートに取りまとめ、広く外部にも公表します。

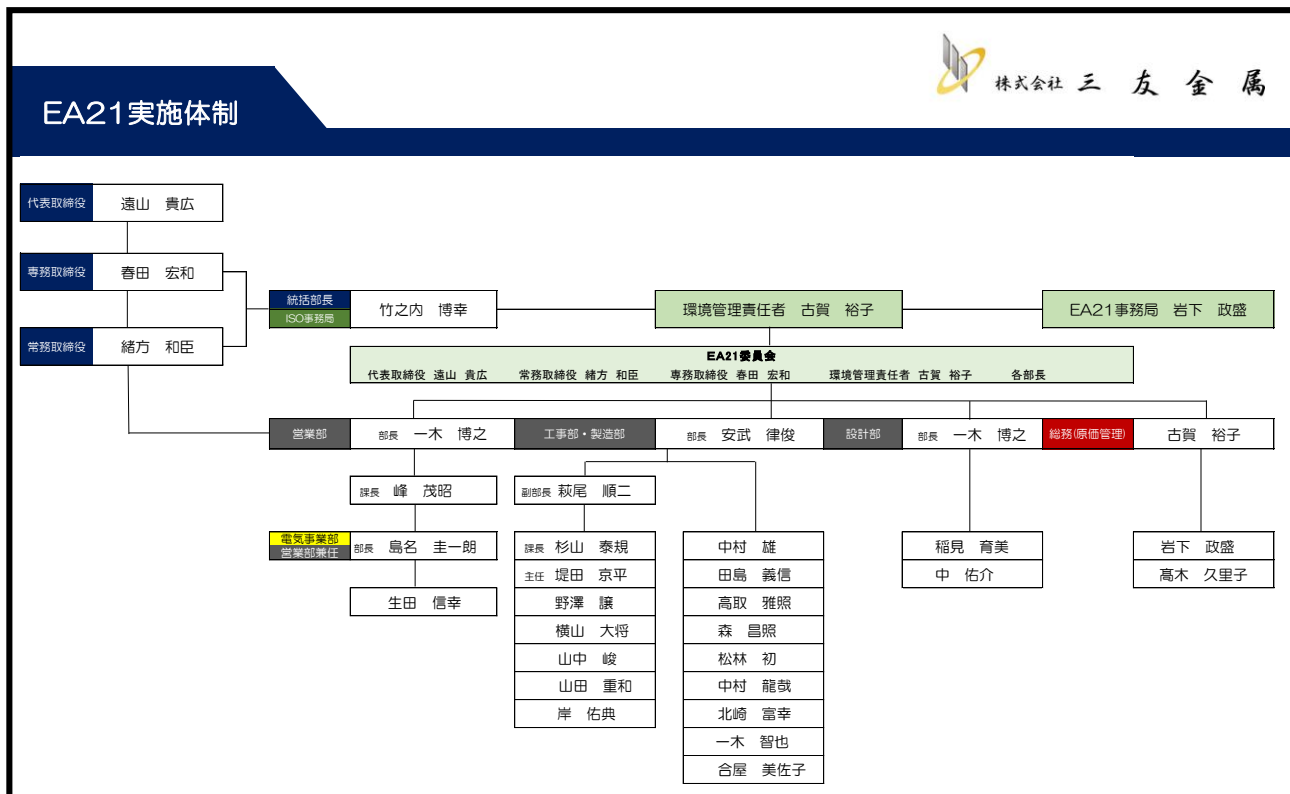
制定日 平成 28 年 7 月 29 日



株式会社 三 友 金 属

代表取締役 遠山 貴広

### 3. EA21 実施体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する責任と権限を持つ。</li> <li>環境管理責任者を任命する。</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知する。</li> <li>環境目標・環境活動計画書・環境活動レポートを承認する。</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理をする。</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認する。</li> <li>毎年環境目標・環境活動計画書を作成する。</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告する。</li> <li>環境活動レポートの確認をする。</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口として情報の収集と伝達を行う。</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回開催し、取組状況を確認するとともに、3カ月に1回は評価を行い問題点があれば、必要な是正処理の検討を行う。</li> </ul>
各部部长及び責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針、環境目標、環境活動計画の実施状況を確認する。</li> <li>建設工事における環境活動を推進する。</li> <li>自部門に関連する法規制等を遵守する。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。</li> </ul>

## 4. 環境目標

- ・環境目標は6項目を設定しました。
- ・環境目標は、27年度を基準とし、単年度目標、中長期目標を設定しています。
- ・各目標に対してはサイト区分を(事務所・工場)、(建設現場)と分けて設定しました。

環境目標	サイト区分	単位	2015年度 (平成27年) 基準年	2016年度 (平成28年)	2016年度 (平成28年) 試行期間	2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	
			平成27年3月 ～ 平成28年2月	平成28年3月 ～ 平成29年2月	平成28年9月 ～ 平成28年11月	平成29年3月 ～ 平成30年2月	平成30年3月 ～ 平成31年2月	平成31年3月 ～ 令和2年2月	令和2年3月 ～ 令和3年2月	
二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO <sub>2</sub>	36,918	36,548 (△1%)	11,153	36,169 (△2%)	35,810 (△3%)	35,441 (△4%)	35,072 (△5%)	
	建設現場	kg-CO <sub>2</sub>	70,589	69,883 (△1%)	15,379	69,177 (△2%)	68,471 (△3%)	67,765 (△4%)	67,059 (△5%)	
	全社合計	kg-CO <sub>2</sub>	107,507	106,431	26,532	105,346	104,281	103,206	102,131	
1	(1)軽油使用量の削減	工場	L	696	689 (△1%)	364	683 (△2%)	675 (△3%)	668 (△4%)	661 (△5%)
		建設現場	L	26,898	26,629 (△1%)	5,860	26,360 (△2%)	26,091 (△3%)	25,822 (△4%)	25,531 (△5%)
	(2)ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	5,369	5,315 (△1%)	1,963	5,262 (△2%)	5,207 (△3%)	5,154 (△4%)	5,100 (△5%)
	(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	63,195	62,563 (△1%)	15,756	61,931 (△2%)	61,299 (△3%)	60,667 (△4%)	60,035 (△5%)
廃棄物排出量の削減										
2	(1)一般廃棄物排出量の削減(その他可燃ごみ)	事務所・工場	kg	不明	2,079	現状把握	2,058 (△2%)	2,037 (△3%)	2,016 (△4%)	1,995 (△5%)
	(2)産業廃棄物のリサイクル率向上	工場 建設現場	%	84	85	85	85	85	85	85
3	水使用量の削減	事務所・工場	m <sup>3</sup>	300	297 (△1%)	81	294 (△2%)	291 (△3%)	288 (△4%)	285 (△5%)
4	グリーン購入の推進(購入金額の割合)	事務所	%	不明	36	現状把握	37	37	37	37
5	化学物質の適正使用・適正管理	工場	kg	288	適正使用・適正管理に努めます					
6	環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所・工場	件 (受注件数)	175	177	45	179	181	182	184

備考) ①二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、(株)F-POWERの平成27年度調整後

排出係数(0.358kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いた。

②( )は基準年に対する削減率を示す。

③試行運用期間の目標は前年同月の月の値の1%減を示す。

## 5. 環境活動計画

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	軽油使用量の削減	工場	1	急発進・急加速を行わない。
			1	アイドリングストップ手順を決め、実行する。
		建設現場	2	急発進・急加速を行わない。
			3	タイヤの空気圧を定期的に確認する。
(2)	ガソリン使用量の削減	事務所・工場	1	アイドリングストップ手順を決め、実行する。
			2	急発進・急加速を行わない。
			3	タイヤの空気圧を定期的に確認する。
(3)	電気使用量の削減	事務所・工場	1	室内温度計を設置し、冷房時25～28度、暖房時24～26度を目安にエアコン設定温度を調節する。
			2	帰社時は、パソコンは主電源を切り、プリンターは省エネモードにする。
			3	休憩室やトイレなどの電気を使用時のみ点灯する。
			4	機械を使用していない時は、主電源を切る。

### 2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	1	印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量になるように考慮し、残部がでないように配慮する。
			2	封筒やダンボールは資源ゴミ置き場、資源原価率を向上させ排出時には、重量を計測する。
			3	両面印刷や裏紙利用で紙使用量を削減し、排出時には分別排出を行い、パーリサイクル率を高める。
(2)	産業廃棄物のリサイクル率向上 (リサイクル率85%)	工場 建設現場	1	現場での産業廃棄物分別作業を協力会社を含めて徹底し、混合廃棄物ゼロを目指す。
			2	収集時での分別の確認と報告を徹底する。

### 3. 水使用量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	水使用量の削減	事務所・工場	1	水の使用場所には節水シールを貼り、節水に心がける。
			2	ホースの先にストッパーを取り付け、社用車の洗車の際は、水を必要最小限に使用する。

### 4. グリーン購入の推進

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	グリーン購入の推進	事務所	1	エコ商品の対象商品を調査し、エコ商品への切り替え。
			2	エコ商品の購入金額を記録。

### 5. 化学物質の適正使用・適正管理

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	化学物質の適正使用と適正管理	工場	1	化学物質の適正使用・適正管理のため、購入量を記録する。
			2	使用者に対してSDSの使用上の注意を厳守させる。

### 6. 環境に配慮した自社製品の販売・拡大

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所・工場	1	ホームページの商品紹介を拡充させる。
			2	営業先を開拓していく。

## 6. 実施した取組内容、取組結果及びその評価

### 二酸化酸素排出量削減の取組

#### 二酸化炭素排出量の実績（2018年度） 単位：k g-CO<sub>2</sub>

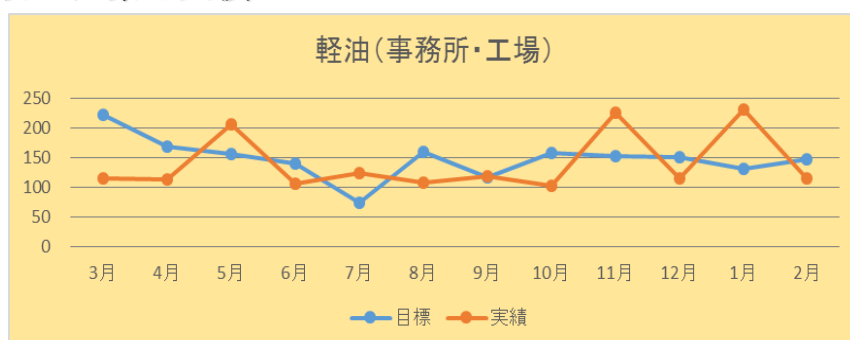
項目	事業所		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
軽油	事務所・工場	目標	221	168	155	140	74	160	117	158	153	150	130	147	1,773
		実績	115	113	205	105	123	108	118	102	226	115	231	115	1,676
	建設現場	目標	5,094	5,112	5,188	6,201	5,870	6,822	8,192	5,959	5,343	4,908	4,816	4,966	68,471
		実績	7,369	5,501	5,852	6,340	6,629	7,277	6,301	6,104	6,225	7,634	6,823	4,850	76,905
ガソリン	事務所・工場	目標	1,414	1,135	1,194	1,455	1,067	1,326	685	901	788	835	498	792	12,090
		実績	1,398	1,254	1,240	1,098	1,446	1,249	1,096	1,393	1,305	1,523	1,405	1,175	15,582
電気	事務所・工場	目標	2,154	1,462	1,236	1,331	1,584	2,196	1,965	1,584	2,152	2,027	2,140	2,116	21,947
		実績	2,095	1,483	1,688	1,715	2,137	2,345	1,901	1,656	2,043	2,574	2,784	2,662	25,083

#### 二酸化炭素（k g-CO<sub>2</sub>）削減の目標と実績

##### 軽油（事務所・工場）

事務所・工場での軽油使用は、工場のリフトで使用しています。

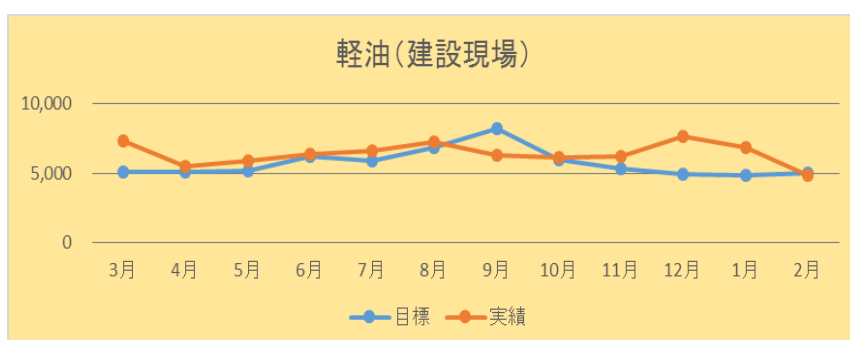
リフトが2台から1台になったので軽減できました。



##### 軽油（建設現場）

ハイエース5台、トラック5台の軽油量です。毎月軽油量と走行量で燃費を計測し、掲示し削減に取り組みました。

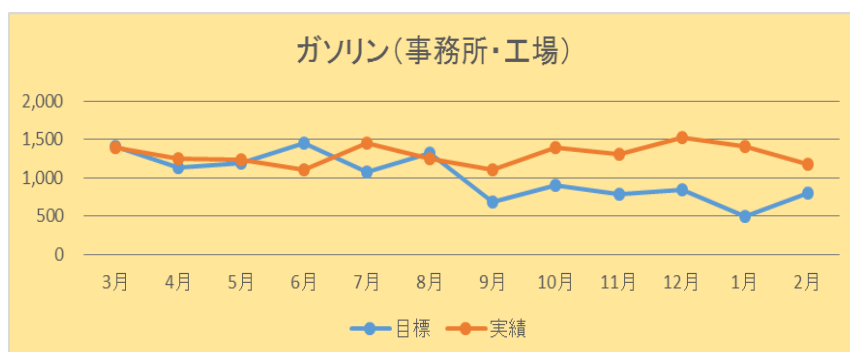
しかし、昨年より工事現場が増えたことで増加しました。



##### ガソリン（事務所・工場）

プリウス5台のガソリン量です。

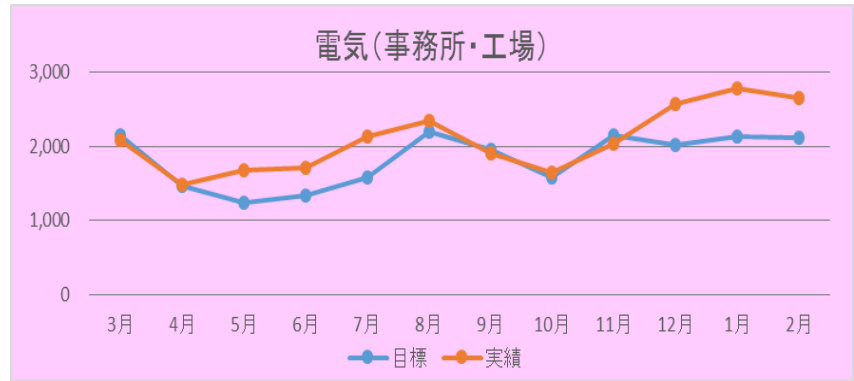
基準年より2台増車した為目標より削減できませんでした。





## 電気 (事務所・工場)

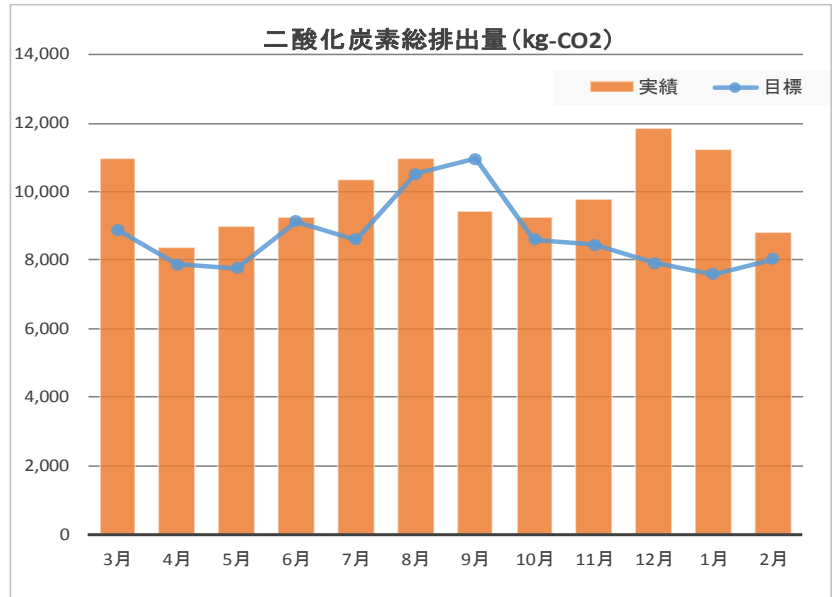
目標とほぼ変わりませんが、売上が上がった分だけ、基準年より使用量が増えました。



## 二酸化炭素排出量の総量(全社)

(単位: kg-CO2)

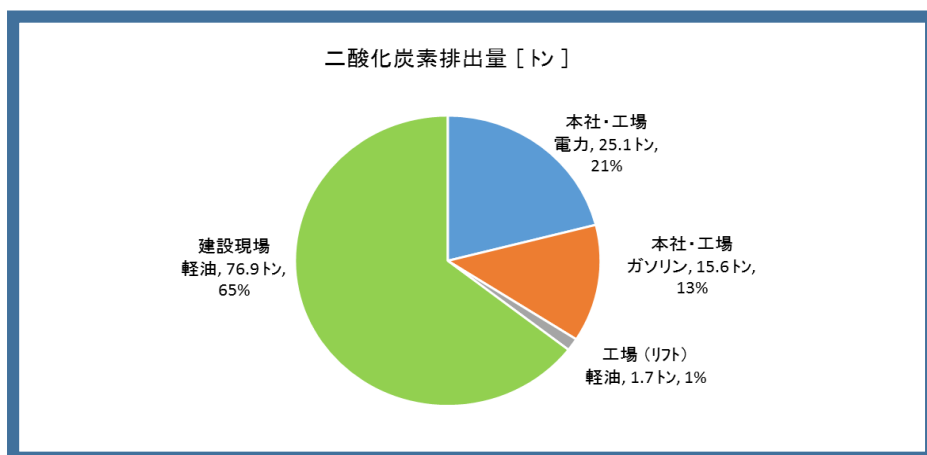
	目標	実績	取組の実施状況
3月	8,884	10,978	×
4月	7,876	8,350	×
5月	7,773	8,985	×
6月	9,127	9,259	△
7月	8,595	10,336	×
8月	10,505	10,979	△
9月	10,958	9,416	○
10月	8,601	9,255	×
11月	8,436	9,798	×
12月	7,920	11,847	×
1月	7,584	11,243	×
2月	8,021	8,825	×
合計	104,280	119,271	×
目標達成率		87%	



基準年より売上が大幅に上がったため、その分の経費として同様に軽油やガソリン、電気の使用量も上がった為に二酸化炭素排出量を減らすことができませんでした。これからも、売上UPを目指していきので、売上に対比した目標設定にしていこうと思います。



## 二酸化炭素排出量の用途別割合



合計年間 119.3トン排出 社員1人当たり約 3.8トン排出

## 各項目の経年変化

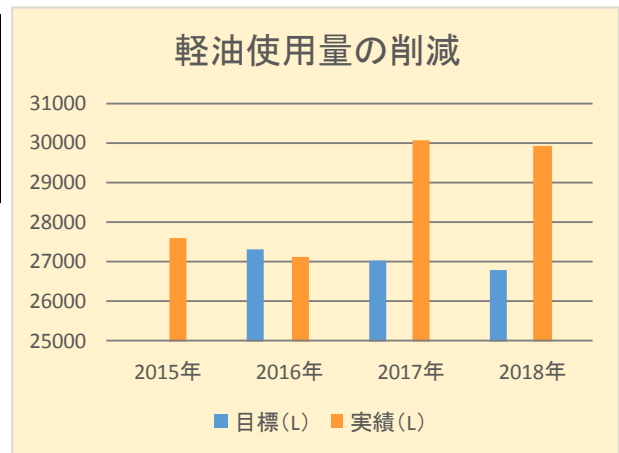
### 1) 軽油使用量の削減（サイト：全体）

#### 軽油の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年
目標(L)		27,314	27,037	26,767
実績(L)	27,594	27,114	30,069	29,944

2017年、2018年は現場の数も多く、また遠方の現場も多かった為、軽油の使用量が目標よりも高くなっています。

再度、車両の乗り方、管理の仕方に注意を払ってもらうよう取り組んでいきます。

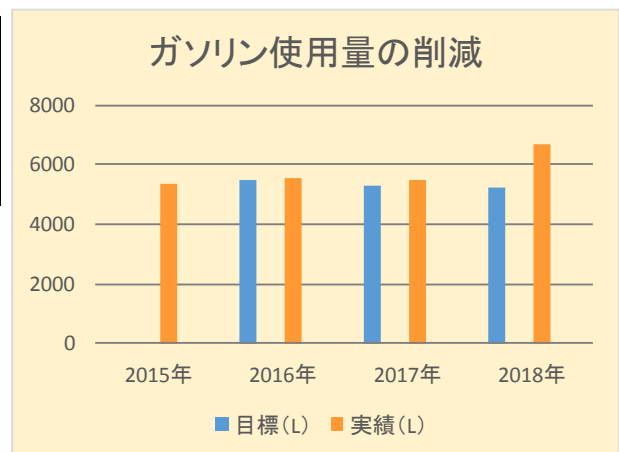


### 2) ガソリン使用量の削減（サイト：事務所・工場）

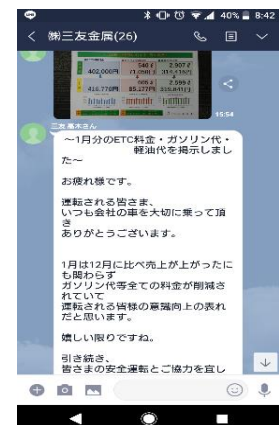
#### ガソリンの年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年
目標(L)		5,476	5,312	5,207
実績(L)	5,369	5,530	5,519	6,711

ガソリンにおいては、営業車(プリウス)を2台増車したことが削減できなかった理由として挙げられます。営業の仕方にも工夫をしてもらい、ガソリン使用量の削減に貢献できたらと思います。



毎月の ETC 料金、ガソリン使用料金、軽油使用料金を売上対比とした自社独自の目標設定を行い、掲示板及び社員共有の LINE に UP したり、削減を呼びかけています。

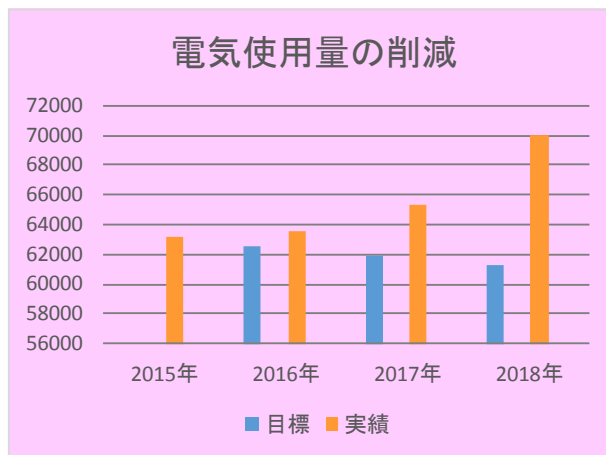


### 3) 電気使用量の削減 (サイト：全体)

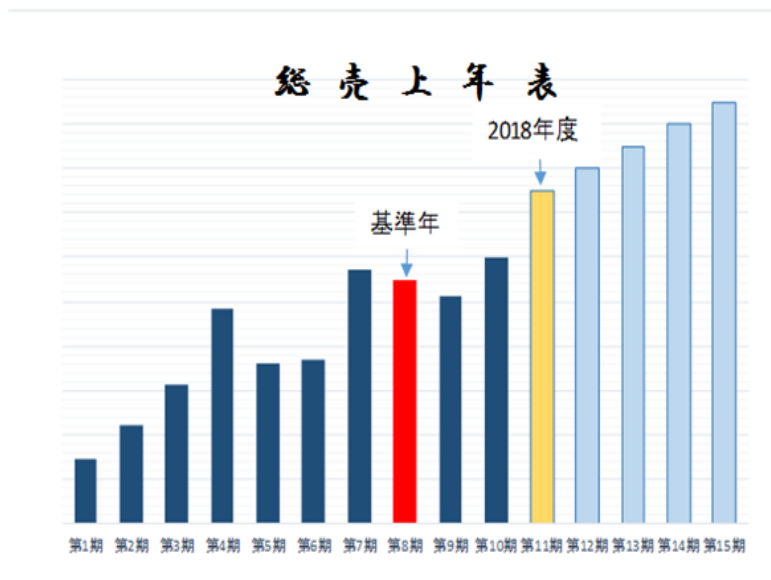
電気の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年
目標 (kWh)		62,563	61,931	61,299
実績 (kWh)	63,195	63,606	65,368	70,069

電気の使用量も売上ベースで考えると仕方のないことかと思いますが、その中でも削減できる取組を考えていこうと思います。



事務所や休憩室に温度計を設置し、温度設定を心がけています。



左の表は弊社の売上年表です。基準年が第8期です。2018年(平成30年3月～平成31年2月)が第11期です。表を見ても分かる通り、基準年とした第8期より2018年の第11期は売上が大幅にUPしています。今後の目標も売上を伸ばしていく設定なのでエコアクションの目標も売上に対比していかなければなりません。

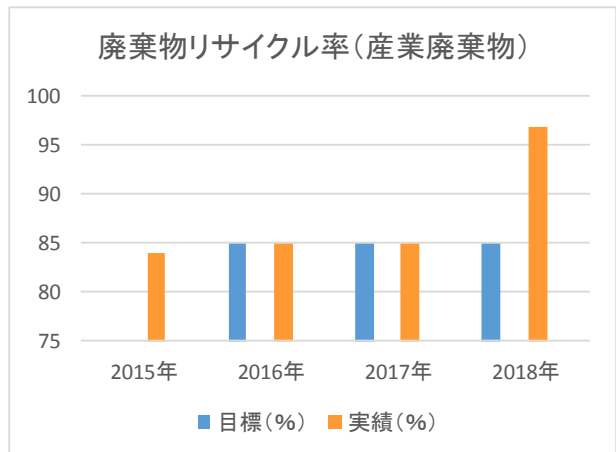
- ... 歴年売上高
- ... 基準年売上高
- ... 2018(H30)年度売上高
- ... 今後の売上目標

#### 4) 廃棄物排出量の削減（サイト：全体）

廃棄物リサイクル率（産業廃棄物）の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年
目標(%)		85	85	85
実績(%)	84	85	85	97

産業廃棄物のリサイクルは前年度より上がっています。  
このまま、分別をこまめにし、リサイクル率を上げて  
いきたいと思ひます。



ゴミの分別はだいぶ皆に浸透してきました。  
引き続き、皆で協力していきたいと思ひます。



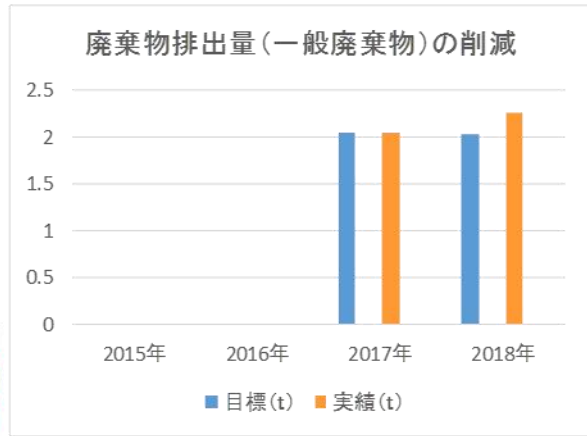
※産廃の管理をペーパーでのマニフェストをやめて、  
電子マニフェストに完全移行しました。



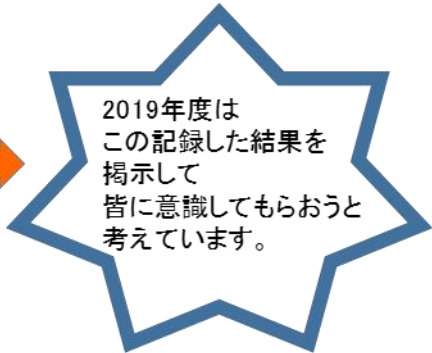
廃棄物排出量(一般廃棄物)の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年
目標(t)		原状把握	2,06	2,04
実績(t)	不明	不明	2,06	2,26

一般廃棄物の排出量は目標を超えてしまいました。毎回排出の度に、計測していますが、担当だけの把握で皆に周知を削減を呼びかけていこうと思います。



毎回、一般廃棄物の排出の際には測量し、記録を行っています。



今まで資源ゴミで回収していた封筒などから使用済切手は、ボランティア団体に寄付しています。

5) 上下水道使用量の削減 (サイト：事務所・工場)

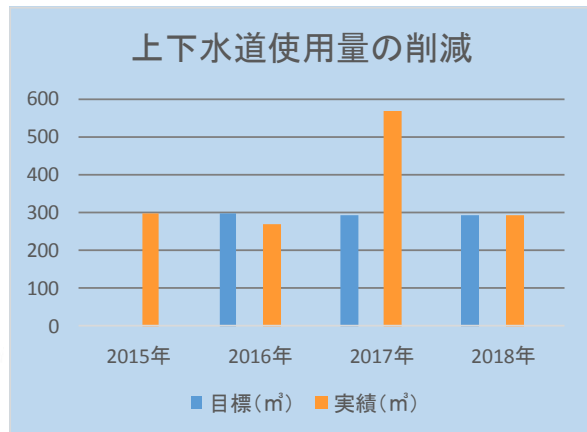
上下水道使用量の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年
目標(m³)		297	294	291
実績(m³)	300	267	567	294

水道使用量はもう少しで目標達成できるところだったのに残念です。このまま、削減を継続していきたいです。



2017年度突出している原因は、水道栓の漏れに気づかず、出しっぱなしにしていた為です。改めて、蛇口の閉め忘れなどないように周知しました。

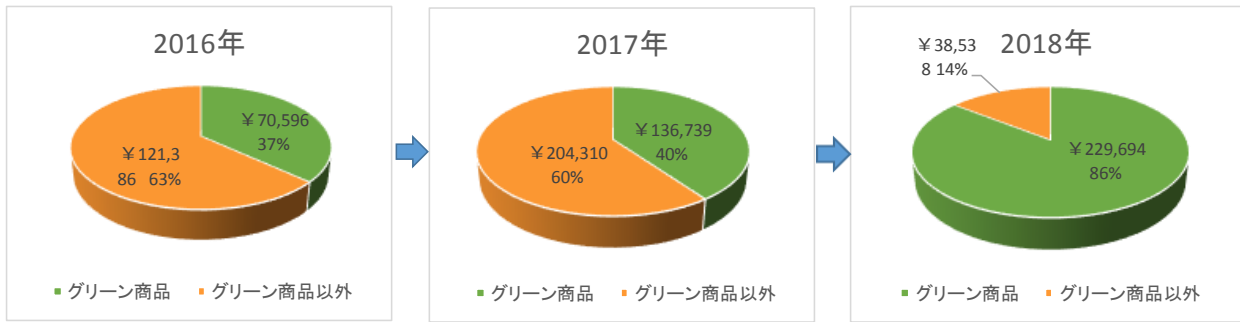


## 6) グリーン購入推進（サイト：事務所・工場）

グリーン購入推進の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年
グリーン商品		70,596	136,739	229,694
グリーン商品以外		121,386	204,310	38,538
合計		191,982	341,049	268,232
グリーン購入率(%)		37%	40%	86%

基準年からグリーン購入法に基づいた商品を始めましたが年々グリーン購入率が上がってきています。このまま、グリーン商品を意識した購入を進めていきたいと思ひます。



## 7. 環境目標と実績

- ・平成30年度(2018年度)における環境目標の達成状況は、以下の通りです。
  - ・設定した6つの環境目標の中で、二酸化炭素の排出量削減は達成できませんでした。
  - ・目標未達成の主な原因としては、基準年度より売上金額が大幅に上がっています。
- その為、軽油やガソリン・電気などの使用量も多くなっています。

環境目標	サイト区分	単位	基準年	平成30年度(2018年度) (H30.年3月～H31.2年2月)		目標達成率	目標達成判定	
			平成27年度 (H27.3～H28.2) 実績値	目標値	実績値			
二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO <sub>2</sub>	49,661	35,810	42,365	85%	×	
	建設現場	kg-CO <sub>2</sub>	62,026	68,471	76,906	89%	×	
	全社合計	kg-CO <sub>2</sub>	111,687	104,281	119,271	87%	×	
1	(1)軽油使用量の削減	工場	L	1,116	675	639	106%	○
		建設現場	L	23,635	26,091	29,305	89%	×
	(2)ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	10,266	5,207	6,711	78%	×
	(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	61,429	61,299	70,069	87%	×
<b>廃棄物排出量の削減</b>								
2	(1)一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	kg	不明	2,037	2,260	90%	△
	(2)産業廃棄物のリサイクル率向上	工場 建設現場	%	84	85	97	-	○
3	水使用量の削減	事務所・工場	m <sup>3</sup>	300	291	294	99%	△
4	グリーン購入の推進 (購入金額の割合)	事務所	%	不明	37	62	-	○
5	化学物質の適正使用・適正管理	工場	kg	288	化学物質の適正使用・適正管理に努めます	1,250	-	○
6	環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所・工場	件 (受注件数)	175	181	274	151%	○

備考) ・二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、(株)F-POWERの平成27年度調整後排出係数 (0.358kg-CO<sub>2</sub>/kWh) を用いた。

・( )は基準年に対する削減率を示す。

・目標達成率の算定方法 削減目標の場合：目標値/実績値×100 [%]  
増加目標の場合：実績値/目標値×100 [%]

・目標達成判定の区分定義：  
○・・・目標達成率≥100%  
△・・・100>目標達成率≥95  
×・・・目標達成率<95

・試行運用期間の目標は、前年同月の値の1%減を示す。

## 8. その他の環境活動

### 8.1 太陽光パネルの設置

平成25年11月に工場の広大な屋根を生かして、209枚の太陽光パネルを設置しました。

これにより、2018年度は、発電量32MWh、売電料金124万円でした。

太陽光は無限のエネルギーであり、太陽光パネルを設置する事だけで発電でき、CO<sub>2</sub>や有害物質を一切排出しません。

弊社では、定期的に清掃を行い、発電を妨げないように努めています。



#### 太陽光設備の概要

連系する電力系統：高圧一般配電線(三相3線、6.6kV、60Hz)

発電設備の種類：太陽電池発電所

太陽電池容量：52.25kW

パワーコンディショナ容量：45kW(10kW×4台、5kW×1台)

(モジュール板 209枚 H1650 W992) 1枚あたり 250W出力

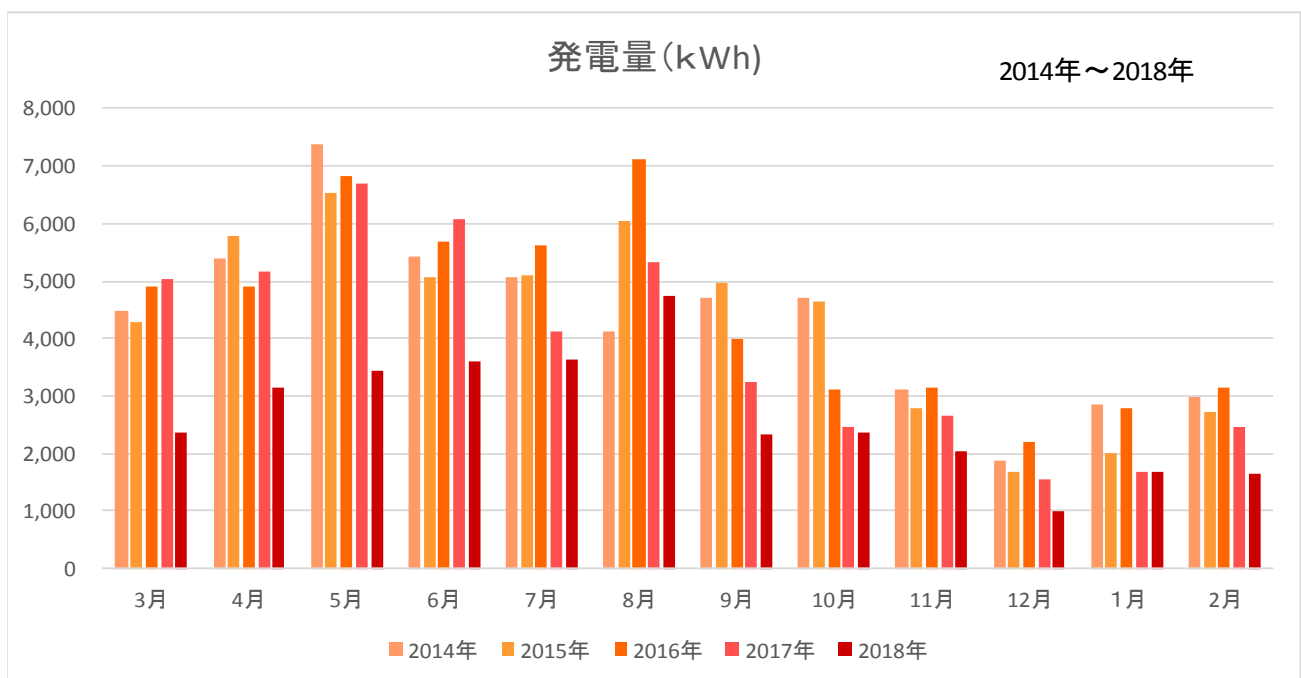
逆潮流の有無：逆潮流有り

設置年月日：平成25年11月15日



## 太陽光発電量及び売電料金(2014年(H26年)3月～2018年(H31年)2月)

	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	発電量 (kWh)	売電料金 (千円)	発電量 (kWh)	売電料金 (千円)	発電量 (kWh)	売電料金 (千円)	発電量 (kWh)	売電料金 (千円)	発電量 (kWh)	売電料金 (千円)
3月	4,477	169.2	4,283	166.5	4,894	190.3	5,041	195.9	2,360	91.7
4月	5,390	203.7	5,792	225.2	4,907	190.8	5,177	201.2	3,135	121.8
5月	7,367	286.4	6,529	253.8	6,816	265.0	6,709	260.8	3,424	133.1
6月	5,438	211.4	5,055	196.5	5,702	221.7	6,086	236.6	3,600	139.9
7月	5,057	196.6	5,113	198.8	5,612	218.2	4,133	160.6	3,646	141.7
8月	4,114	160.0	6,030	234.4	7,131	277.3	5,323	206.9	4,739	184.2
9月	4,714	183.3	4,969	193.2	4,001	155.6	3,253	126.4	2,344	91.1
10月	4,706	183.0	4,648	180.7	3,099	120.5	2,469	95.9	2,358	91.6
11月	3,099	120.5	2,803	109.0	3,159	122.8	2,653	103.1	2,033	79.0
12月	1,872	72.8	1,688	65.6	2,198	85.5	1,553	60.3	989	38.4
1月	2,864	111.3	2,013	78.2	2,776	107.9	1,688	65.6	1,669	64.8
2月	2,974	115.6	2,724	105.9	3,132	121.7	2,473	96.1	1,641	63.8
合計	52,072	2,014	51,647	2,008	53,427	2,077	46,558	1,809	31,938	1,241



今年は例年に比べて、発電量が少なくなっています。  
日照量が少ないせいかと思いましたが、故障の可能性もあります。  
施工業者に依頼中です。

## 8.2 緊急避難訓練

想定した緊急事態	休憩所からの火災
<p><b>対応策</b></p> <p><b>1.火災の場合の対応策</b></p> <p>(1) 必要な備品等            粉末消火器設置場所へ『消化設備設置』と表記</p> <p>(2) 『緊急事態連絡』 消防署119番への通報</p> <p><b>2.具体的な対応策</b></p> <p>(1) 第1発見者は、直ちに付近にいる人に知らせるとともに、粉末消火器で初期消火活動を行う。→<b>第一発見者(高木)</b></p>  <p>(2) 皆に火災を知らせ、『緊急事態連絡』消防署 119番へ通報する。            →<b>第一発見者及び近くに居る者(古賀)</b></p>   <p>(3) 全従業員は、消火器での初期消火可能と判断される場合は初期消火する。 →<b>全従業員</b></p>   <p>(4) 二次火災を防ぐため、可能なら電源盤の電源を遮断する。不可能ならば避難する。</p> <p><b>3.対応処置手順等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難場所は建物西側の駐車場とし、人員の確認及びけが人の情報を報告する。→<b>稲見</b>            →<b>竹之内部長・安武部長に報告する</b></li> <li>・ 外出先での火災等の災害に遭遇した場合は、避難終了後、事務所に所在と身の安全を報告する。</li> </ul>	



避難訓練、点呼中！！

## 9. 環境関連法規等の遵守結果

2018年度(平成30年3月～平成31年2月)の事業活動で遵守すべき法令は以下のとおりです。

また外部からの苦情や法令違反の指摘もありませんでした。

遵守確認の結果、法令違反はありませんでした。

法令名称	該当・設備(業務)	要求事項	遵守状況
消防法	塗料吹付ブース	品目と数量の把握	○
		少量危険物の貯蔵・取扱の技術上の基準	○
		少量危険物の貯蔵及び取扱いの届出等	○
廃棄物処理法	産業廃棄物 排出事業者	産業廃棄物(委託)	○
		産業廃棄物(排出責任者)	○
	電子マニフェスト	センターへの登録	○
		運搬・処分の終了確認	○
		遅滞、虚偽、処理困難の報告	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	簡易点検の実地	○
労働安全衛生法	従業員	健康診断の実施	○
地球温暖化対策推進法	全事業活動	事業者の責務	○
グリーン購入法	物品調達	事業者及び国民の責務	○

備考) 遵守状況の判定 ○: 遵守 ×: 法令違反 —: 該当なし

## 10. 代表者による全体の評価と見直しの結果

担当者、責任者間では有効ではあるが、会社全体としては、まだ浸透しておらず、

課題は残るがシステムを機能させることで環境経営を共有し、会社としても協調性の

資質を高めていきたいと思えます。

実施状況は満足できる結果ではありませんが、年々成長を感じております。



株式会社 三友金属

代表取締役 遠山 貴広